

講義録レポート

講義録コード

03-24-2-09-[1] - [0] [1]

講座	税 理 士	科目	事業税
目標年	2024年合格目標	テキスト	No. (1)
コース	上 級	回数	第 (1) 回
用途	・ビデオブース ・WEB通信 ・DVD通信 ・資料通信 ・Webフォロー ・音声DLフォロー		

収録日	2023 年 12 月 13 日		
講師名	村上 満秀 先生	板 書	3 枚 ※レポート含まず
		その他	5 枚 (名称/該当教材) 補助レジュメ
		ご案内	2 枚 (名称/該当教材) 日程表

授業構成	講義(56分) P1~P20、P188	⇒	講義(36分) P20、P87~P88 P21~P29	⇒	講義(43分) P30~P46
------	------------------------	---	-----------------------------------	---	--------------------

実施 テスト	【 <input type="checkbox"/> 】上級演習 第()回	テストでの正誤
	実施時間 ()分	【 <input type="checkbox"/> 】あり 【 <input type="checkbox"/> 】なし 【 <input type="checkbox"/> 】問題 【 <input type="checkbox"/> 】解答用紙 【 <input type="checkbox"/> 】解答解説

使用教材	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】上級テキスト No.(1)	該当ページはテキスト内の コントロールタワーをご覧ください
	【 <input type="checkbox"/> 】上級演習 第()回	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】理論マスター 【 <input type="checkbox"/> 】ポイントチェック
	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】トレーニング No.(1)	【 <input type="checkbox"/> 】その他()

配布教材	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】上級テキスト No.(1)	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】理論マスター
	【 <input type="checkbox"/> 】上級演習 第()回	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】ポイントチェック
	【 <input checked="" type="checkbox"/> 】トレーニング No.(1)	【 <input type="checkbox"/> 】その他()
	【 <input type="checkbox"/> 】テスト帳合レジュメ <<講義録添付なし>> ()	

備考	
----	--

事業税 上級コース 上級演習出題予告

(上記予告は変更される場合があります。)

第1回 (No.1-第2回)

<理論>

① 法人事業税の納税義務者 (理マ1-1)

1. 法人事業税の納税義務者 ((3)みなし課税法人を除く。) 2. 外国法人の事務所等、5. 実質課税の原則

② 事業税の事務所等 (理マ1-2)

1. 概要 2. 内国法人又は内国個人の事務所等 3. 外国法人の事務所等
4. 恒久的施設 (各場所の詳細は不要)

③ 事業税の非課税 (理マ1-3)

2. 非課税事業

<計算>

特定内国法人の税額算定 (所得割のみ課される法人)

第2回 (No.1-第4回)

<理論>

① 付加価値割及び所得割の課税標準 (理マ2-1, 2) (特定内国法人の場合は不要)

<計算>

外形対象法人の税額算定 (問20/概況表)

第3回 (No.1-第6回)

<理論>

① 法人事業税の確定申告納付 (理マ3-3)

<計算>

① 適格合併があった場合の中間申告 (問31)

② 所得割のみ課される法人の中間申告納付 (問30)

第4回 (No.1-第8回)

<理論>

① 法人事業税の分割基準 (理マ2-8)

(製造業とその他の事業)

② 電気供給業及びガス供給業に係る収入割の課税標準 (理マ2-3)

<計算>

① 少額短期保険業者の税額算定 (問56)

② 生命保険会社の税額算定 (問54)

第5回 (No.2-第4回)

<理論>

① 個人事業税の青色事業専従者等の取扱い (理マ5-4)

② 個人事業税の第2種事業 (理マ5-2)

<計算>

① 個人事業税の算定 (青色申告)

② 個人事業税の算定 (白色申告)

第6回 (No.2-第6回)

<理論>

① 外形対象法人に係る徴収猶予 (理マ7-1)

② 法人事業税の税額算定 (応用理論)

<計算>

特定内国法人 (外形対象法人) の税額算定 (問32~問35)

第7回 (No.2-第8回)

<理論>

① 法人税の課税標準を基準とする所得割の更正・決定 (理マ4-3)

② 個人事業税の申告 (理マ6-3)

<計算>

特定内国法人 (外形対象法人) の税額算定 (問32~問35、問41)

過去本試験の出題内容

回	年	理 論				計 算			
51	平成13年	個別	法人	—	70	総合	法人	分割	30
52	平成14年	総合 個別	法人 個人	— —	50 20	総合	法人	分割	30
53	平成15年	総合 応用	個人 法人	— 分割	50 25	総合	法人	分割	25
54	平成16年	総合 応用	法人 法人	— 分割	50 25	総合	法人	分割	25
55	平成17年	応用 個別	法・個 法人	— —	50 15	総合	法人	分割	35
56	平成18年	個別 応用	法人 個人	— —	50 20	総合	法人	分割	30
57	平成19年	個別 応用	法人 法人	分割 —	45 20	総合	法人	分割	35
58	平成20年	個別 応用	法人 法人	— —	55 15	総合	法人	分割	30
59	平成21年	個別 総合	法・個 個人	— —	50 20	総合	法人	分割	30
60	平成22年	個別 総合	法人 法人	— —	50 20	総合 総合	個人 法人	分割 分割	30
61	平成23年	個別 応用	法・個 法人	— —	50 20	総合	法人	分割	30
62	平成24年	個別 応用	法人 個人	— —	30 20	総合(小) 総合(大)	法人 法人	分割 分割	50
63	平成25年	個別 応用	法人 法人	— 分割	30 20	総合(中) 総合(小)	個人 法人	分割 分割	50
64	平成26年	個別 応用	法人 法人	— 分割	30 30	総合(中) 総合(大)	個人 法人	分割 分割	40
65	平成27年	個別 応用	法人 個人	— 分割	30 30	総合(中) 総合(中)	法人 法人	分割 分割	40
66	平成28年	個別 応用	法・個 法人	— —	30 25	総合(中) 総合(大)	法人 法人	分割 分割	45
67	平成29年	個別 応用	法人 個人	— 分割	30 25	総合(大) 総合(中)	法人 法人	分割 分割	45
68	平成30年	個別 応用	法人 法人	— —	30 25	総合(小) 総合(大)	個人 法人	分割 分割	45
69	令和1年 (平成31年)	個別 応用	法・個 法人	— —	30 25	総合(中) 総合(中)	法人 法人	分割 分割	45
70	令和2年	個別 応用	法人 法・個	— 非分割	50	総合(小) 総合(大)	法人 法人	分割 分割	50
71	令和3年	個別 応用	法人 個人	— 分割	50	総合(大) 総合(小)	法人 個人	分割 分割	50
72	令和4年	個別 応用	個人 法人	— 非分割	50	総合(大) 総合(小)	法人 法人	分割 分割	50
73	令和5年	個別 応用	法人 法人	— 分割	51	個別(中) 総合(中)	法人 個人	分割 分割	51

上級コースNo.1-第1回

[1] 法人税で税額控除か? 損金算入か? (※A)

P/L			法・別四		事業税	
			当・利	850	合計	1,000
			加算	150	加・減	-
収益	1,000	税・控	法・所	1,000	事・所	1,000
外・税	150					
当・利	850	損・算	当・利	850	合計	850
			加算	-	加・減	150
			法・所	850	事・所	1,000

⇒ 調整なし

⇒ 損金算入
外国税

[2] 外国分A・Bを区分しているか? 否か?

1 区分している (※B) → 結論 bとAを減算 → bとaを(減) + A-aを(減)

- ① 別表四合計欄 ○○
- ② 加算 ([1] による) ○○
- ③ 減算 b ○○
- a ○○ ○○
- 仮計 ○○ ⇒ (イ)
- ④ 外・事・所 A-a = ○○
- ⑤ 所得の総額 (イ) - ④ = ○○

2 区分困難 (※C) → 結論 bを(減) + 推計Aを(減)

- ① 別表四合計欄 ○○
- ② 加算 ([1] による) ○○
- ③ 減算 b ○○ ○○
- 仮計 ○○ ⇒ (ロ)
- ④ 外・事・所 (推計A)
- $\frac{\{(ロ)+b\} \times \text{外国従業員数}}{\text{全従業員数}}$
- ⑤ 所得の総額 (ロ) - ④ = ○○

[3] 応用理論/問題 (※D)

甲株 (期末資本金の額 20 億円、以下甲社という。) はA県及びB県において製造業を行っており、乙株 (甲株と資本関係はない) より派遣契約に基づき派遣社員を受け入れている。

甲社の法人事業税額の算定方法について説明しなさい。

(用紙: 5枚、配点: 30点)

I 特定内国法人の所得と外国税額 (外国所得を区分経理している場合)

全体像		P / L	
A + B + C = 130,000			
A	9,000	a 1,000	
B	18,000	b 2,000	
C	100,000		

〔1〕 外国税額控除方式か？ 損金算入方式か？ (※A)

(1) 税額控除方式

P / L		法人税 / 別表四		事業税
A	9,000	a 1,000		10,000
B	18,000	b 2,000		20,000
C	100,000			100,000

(2) 損金算入方式

P / L		法人税 / 別表四		事業税
A	9,000	a		9,000
B	18,000	b		18,000
C	100,000			100,000

〔2〕 外国所得を区分経理している場合 (※B)

(1) 減算欄で a と b を減算

	X の状態 (仮計欄)
A	10,000
B	20,000
C	100,000

	9,000	a	
	18,000	b	
	100,000		

(2) X (127,000) から外国の事業に帰属する所得 9,000 (A - a) をマイナスする

	9,000		
	18,000		
	100,000		

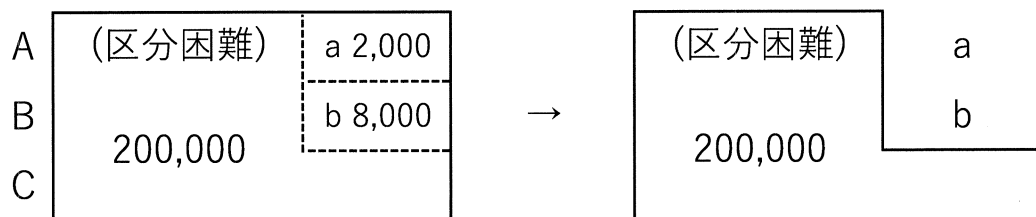
	(A - a)		
	18,000		
	100,000		

II 特定内国法人の所得と外国税額 (外国所得の区分経理が困難な場合)

全体像

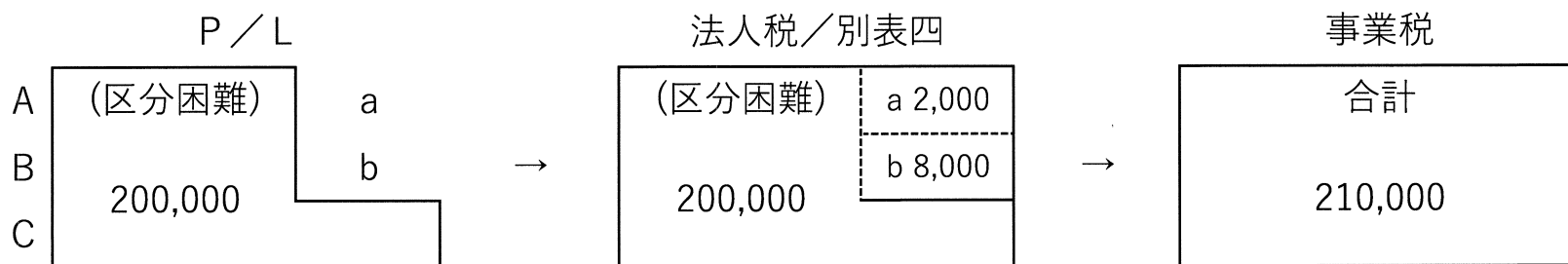
P/L

$$A + B + C = 210,000$$

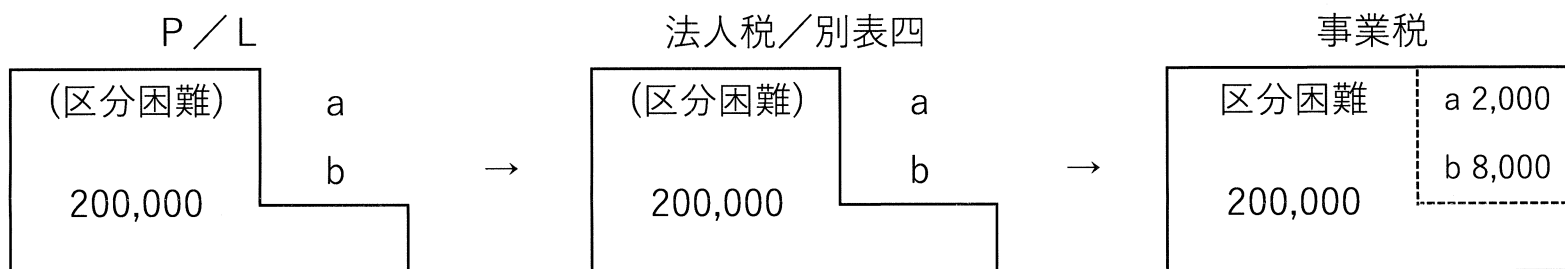


[1] 外国税額控除方式か？損金算入方式か？ (※A)

(1) 税額控除方式

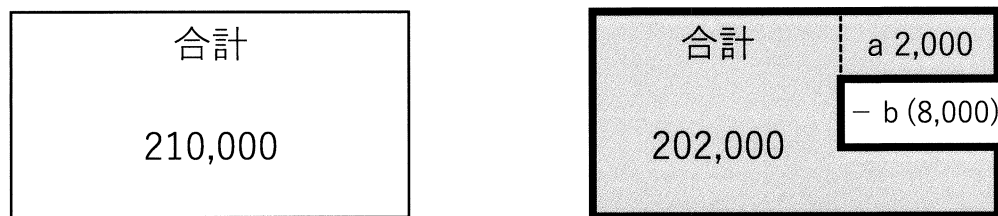


(2) 損金算入方式



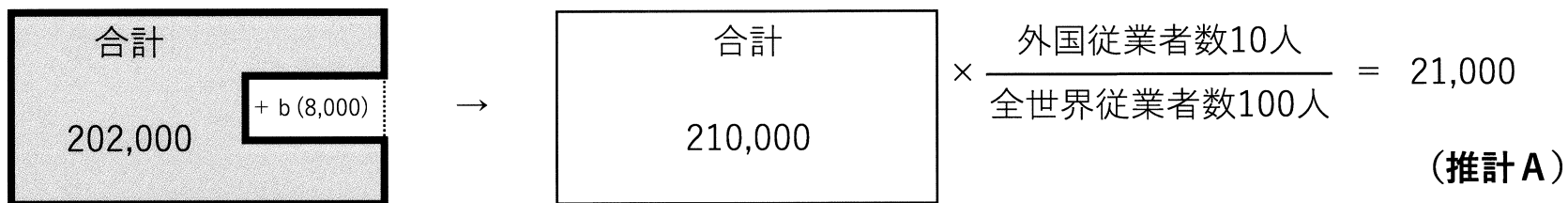
[2] 外国所得が区分経理困難な場合 (※C)

(1) 減算欄でb (8,000)を減算

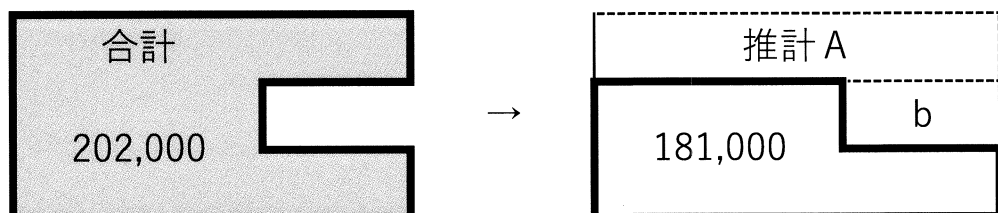


(2) 外国の事業に帰属する所得 (= A) を推定計算しYからマイナスする

① Yにいったん減算したb (8,000)をプラスしてから人数按分する



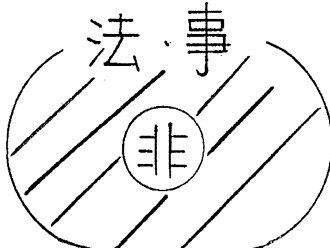
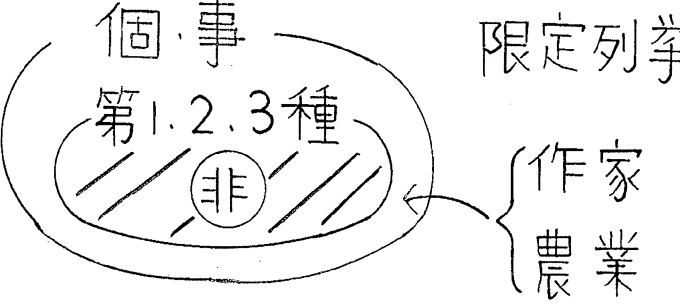
② Y (202,000) から推計A (21,000)をマイナスする



税 理 士 講義録	コース・講義等	上級	科 目	事業税	回 数	テキストNo.1 第1回
-----------	---------	----	-----	-----	-----	-----------------

配布物	★テスト類： []	講師	村上 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

P4.   限定列挙
作家
農業

P20. 87 外国所得の取扱い

法人税 = 全世界所得 × (法) 税率 - 外国税額控除

法人
事業税 = $\underbrace{\left(\begin{matrix} \text{全世界} \\ \text{所得} \end{matrix} - \begin{matrix} \text{外国} \\ \text{所得} \end{matrix} \right)}_{\text{課 標}} \times \text{(事) 税率}$

P20. 87 特定内国法人

A {	外国支店	外税a	→ { 法72の2①(マ1-1) 法72の24(マ2-6)
	外国無人倉庫	外税b	
B {			→ 令21の5(マ2-8)
C {	国内源泉所得		

税 理 士 講義録	コース・講義等	上級	科目	事業税	回数	テキストNo.1 第1回
-----------	---------	----	----	-----	----	-----------------

配布物	★テスト類： []	講師	村上 先生
	★その他の配布物1： []		
	★その他の配布物2： []		

黒 板 内 容

P32

P33 電気のヒーローデングキマン
1.0

名護にひと箱持って名護に皆行こう。
0.75 1.85 0.75 0.37 0.15

P20. 87 外国所得

1. 原則……区分計算
2. 例外……従業者数であん分

$$\text{全世界(所)}(A) - A \times \frac{\text{外国(従)}}{\text{全世界(従)}}$$

1st 期末の人数。(廃止は入れない)

2nd 含める? 含めない? → 分基と同じ

3rd 新・廃・著・変 + 工場5割増 ⇒ しない!!
(+よ、外国支店等が新設された場合)

税 理 士 講義録	コース・講義等	上級	科 目	事業税	回 数	テキストNo.1 第1回
-----------	---------	----	-----	-----	-----	-----------------

配布物	★ テ ス ト 類 : []	講 師	村上 先生
	★ その他の配布物 1 : []		
	★ その他の配布物 2 : []		

黒 板 内 容	
P33	<p>幸せなナミに乗ってる特定ガス. 0.48 0.77 0.32</p>
P34.	<p>見事な合格者(サ)になれるよう 3.5 5.3 7.0</p> <p>すぐくよくよなれた特別法人 3.5 4.9 5.7.</p>

2024年合格目標 12月入学 上級コース

2023.10.20

2024年
合格目標コース

酒税法/固定資産税/事業税/国税徴収法

通信担当講師 酒税:三原 / 固定:松葉 / 事業:村上 / 国徴:石川

教室講座 開講クラス一覧

酒税法 06	水道橋校	土曜A(週1)	1K	土	14:00~17:00	12/23(土)	岩崎
	梅田校	夜A(週1)	6A	水	18:30~21:30	12/20(水)	杉本

事業税 09	水道橋校	土曜A(週1)	1K	土	10:00~13:00	12/23(土)	村上
	新宿校	夜A(週1)	GA	水	18:40~21:40	12/13(水)	村上

国税徴収法 11	水道橋校	土曜A(週1)	1K	土	18:00~21:00	12/23(土)	石川
-------------	------	---------	----	---	-------------	----------	----

固定資産税 08	渋谷校	土曜A(週1)	LH	土	9:00~12:00	12/23(土)	石川
	なんば校	夜A(週1)	BA	火	18:30~21:30	12/19(火)	佐野

住民税 10	上級コースの開講はございません。 住民税の受講をご希望の方は、1月入学 速修コースをご受講ください。						
-----------	---	--	--	--	--	--	--

■ 講義日程 (12月入学 上級コース)

テキスト	回数	上級演習	教室講座				酒税/固定/国徴	事業	
			事業収録 水曜 クラス	火曜 クラス	水曜 クラス	土曜 クラス	Web講義/音声DL /講義録配信・ ビデオブース視聴 開始日	Web講義/音声DL 配信開始日	講義録配信・ ビデオブース 視聴開始日
No.1	1	—	12/13(水)	12/19(火)	12/20(水)	12/23(土)	12/18(月)	12/18(月)	12/20(水)
	2	①	12/20(水)	1/9(火)	1/10(水)	1/13(土)	1/6(土)	12/23(土)	12/26(火)
	3	—	1/10(水)	1/16(火)	1/17(水)	1/20(土)	1/15(月)	1/13(土)	1/16(火)
	4	②	1/17(水)	1/23(火)	1/24(水)	1/27(土)	1/22(月)	1/20(土)	1/24(水)
	5	—	1/24(水)	1/30(火)	1/31(水)	2/3(土)	1/29(月)	1/27(土)	1/31(水)
	6	③	1/31(水)	2/6(火)	2/7(水)	2/10(土)	2/5(月)	2/3(土)	2/7(水)
	7	—	2/7(水)	2/13(火)	2/14(水)	2/17(土)	2/10(土)	2/10(土)	2/14(水)
	8	④	2/14(水)	2/20(火)	2/21(水)	2/24(土)	2/19(月)	2/17(土)	2/21(水)
No.2	1	—	2/21(水)	2/27(火)	2/28(水)	3/2(土)	2/26(月)	2/26(月)	2/28(水)
	2	—	2/28(水)	3/5(火)	3/6(水)	3/9(土)	3/4(月)	3/2(土)	3/6(水)
	3	—	3/6(水)	3/19(火)	3/20(水)	3/23(土)	3/18(月)	3/9(土)	3/13(水)
	4	⑤	3/20(水)	3/26(火)	3/27(水)	3/30(土)	3/25(月)	3/23(土)	3/27(水)
	5	—	3/27(水)	4/2(火)	4/3(水)	4/6(土)	4/1(月)	3/30(土)	4/3(水)
	6	⑥	4/3(水)	4/9(火)	4/10(水)	4/13(土)	4/8(月)	4/6(土)	4/10(水)
	7	—	4/10(水)	4/16(火)	4/17(水)	4/20(土)	4/15(月)	4/13(土)	4/17(水)
	8	⑦	4/17(水)	4/23(火)	4/24(水)	4/27(土)	4/22(月)	4/20(土)	4/24(水)

※ Web通信・Webフォロー・音声DLフォローならびに講義録は、上記配信開始日のAM0:00より配信となります。
また、視聴期限は2024年税理士試験最終日までとなります(メンテナンス時を除く)。
※ 提携校の教室講義日程は、各提携校まで直接お問い合わせください。

■ 質問電話日程

質問電話日程は、TAC WEB SCHOOLにてご案内いたします。

通信講座

12月入学 上級コース(酒税/固定/事業/国徴)

収録担当講師(1-4月期)

〔酒税法：三原 啓文〕〔固定資産税：松葉 貴〕

〔事業税：村上 満秀〕〔国税徴収法：石川 一臣〕

教材発送日程

Web通信/資料通信

TAC発送日	12/14(木)	1/12(金)	2/9(金)	3/8(金)	4/8(月)
テキスト・トレーニング ※1 トレーニングシート	No.1 ※2 ※3		No.2		
演習 (自宅学習用教材)		上級演習2	上級演習4	上級演習6	
提出対象演習 (答案提出締切日)	上級演習1 (2/7)	上級演習3 (3/6)		上級演習5 (4/17)	上級演習7 (5/15)

※1 トレーニングシートがある科目は、酒税のみです。

※2 固定は、12/14(木)に「過去問研究レジュメ」も発送いたします。

※3 【12月入学上級コースよりお申込みの方】

12/14(木)に「理論マスター」「ポイントチェック」も発送いたします。固定は「理論テキスト」も発送いたします。

DVD通信

TAC発送日	12/14(木)	1/12(金)	1/31(水)	2/9(金)	2/22(木)	3/8(金)	3/21(木)	4/8(月)	4/26(金)
テキスト・トレーニング ※1 トレーニングシート	No.1 ※2 ※3			No.2					
演習 (自宅学習用教材)		上級演習2		上級演習4		上級演習6			
提出対象演習 (答案提出締切日)	上級演習1 (2/7)	上級演習3 (3/6)				上級演習5 (4/17)		上級演習7 (5/15)	
講義 (DVD・講義録)		No.1 ①②	No.1 ③④	No.1 ⑤	No.1 ⑥⑦	No.1⑧ No.2①	No.2 ②③	No.2 ④⑤	No.2 ⑥~⑧

※1 トレーニングシートがある科目は、酒税のみです。

※2 固定は、12/14(木)に「過去問研究レジュメ」も発送いたします。

※3 【12月入学上級コースよりお申込みの方】

12/14(木)に「理論マスター」「ポイントチェック」も発送いたします。固定は「理論テキスト」も発送いたします。

通信講座受講生の皆様へ

- ※ TAC発送日とは、TACより教材を発送する日付となります。受講生の皆様へのお届けは地域によって異なりますが、1~4日後となります。
 - ※ 講義録には、板書・正誤表(随時)等、収録クラスで使用した資料が含まれております。
Web通信の方は、講義録はTAC WEB SCHOOLよりダウンロードしてご使用ください。
 - ※ 成績発表はTAC WEB SCHOOLにて行います。
 - ※ 答案提出締切日を過ぎて提出された答案も採点をいたしますが、成績発表の対象から除かれます。
 - ※ 発送日程及び発送内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。
 - ※ 5月以降の教材発送日程は、3月下旬にTAC税理士講座ホームページで掲載いたします。
 - ※ DVD通信の方への講義DVDの発送に際しては、普通郵便にて出荷する場合がございます。
- ★ TAC WEB SCHOOLのご利用にはマイページ登録が必要です。ご登録方法は「受講ガイド」をご確認ください。
- ★ TAC WEB SCHOOLで「オリエンテーション」を配信しています。学習開始前にご視聴ください。